

八重山漁協青壮年部視察結果報告

平成8年11月25日～27日の日程で八重山漁協青壮年部先進地視察引率のため恩納村、本部町、大宜味村へ出張した結果を下記のとおり報告する。

記

1. 日程

- 25日 恩納村漁協、本部漁協、県営栽培センター
- 26日 羽地漁協、大宜味支部、漁業調整委員会室
- 27日 県漁連市場（詳細別紙参照）

2. 概要

恩納村漁協では、漁業収入の8割が藻類養殖（観光漁業除く）であり、経費のかかる魚類養殖を行わず、貝類等の資源管理を徹底し、計画的な生産により安定した収益を上げている。

このことは、漁協が積極的に漁業者を指導し、過度な集中を排除し漁業者全体（90名）がいかにして生計を立てて行くかを真剣に取り組んでいる成果によるものである。

例えば、シャコガイは1日50個と制限し、確認のため殻付きで水揚げさせたり、漁船漁業を営みたい漁業者がいれば、観光漁業を斡旋し年に数カ月のホテルとの契約により漁場への集中を避けるとともに船代の負担を軽減させる手立て等を講じている。

さらに、ウミブドウの陸上養殖を成功させるなど、徹底して餌代等の経費のかからない漁業を推進しているが、これらの成功の裏には、漁協の販路拡大（ホテル等への積極的な売り込み）が生産よりも先行して行われており、常時漁協職員は営業マンとして汗を流していることを見

逃してはならない。

視察日はタカセガイの放流前日で、中間育成礁への放流準備を行っており、乗船視察を行ったが、歩留まり30%（周辺に這い出した分を含めると50%）という高率には感心させられた。八重山の漁業者が関心を示してくれば当該事業の導入も検討したいと考えている。

以前に観光漁業について当青壮年部で視察を行った経緯があるため、今回は割愛したが、恩納村漁協では、八重山で行われている民間の観光コースの手法を取り入れたいとのことで、調査に来たいとのことであった。

本部漁協では青年漁業者を中心とした養殖生産部会が平成2年より養殖をスタートし、その後釣り人の渡し、移入活魚の畜養、観光漁業との複合経営等を行っている。

未だに試行錯誤が多く、町からの補助金、漁協の協力に頼っている状況にあるが、新魚種の導入、直売店（名護にやんばる海鮮館）の出店など積極的に取り組んでいる。

これまでに養殖に取り組んできたなかで、つくることには殆ど問題がなくなっているが、販売については大変な苦勞を強いられており、未だに漁協への水揚げ手数料を納入できない状況にある。このことは、これから魚類養殖を開始しようとしている八重山にとっては大きな参考になると思われる。

観光漁業の例としての水上レストラン（マリンスポーツもできる）については、観光地である八重山の青壮年部にも考えさせる部分があったと思われる。

羽地漁協大宜味支部では、以前ヒオウギガイ等の養殖を行っていたが、構造改善事業で設置したマダイの中間育成施設を利用し、平成3年

よりマダイ養殖を実施し「塩屋マダイ」として積極的に生産を行っている。また、クダア（寄生虫）が出ないとこのことで、カンパチの養殖もスタートしている。

ミドリイガイについては、県の試験研究機関等の手を借りずに独自の取り組みで、種苗生産から垂下養殖までの技術を確立しており、1ロープに数十キロの生産を行えるまでになっている。

塩屋湾では内湾であり、漁場汚染を避けるためドライペレット（配合飼料）を使用（本部は生餌にマッシュを混ぜるモイスト）しているが、八重山でもこれらの問題は当初から調整をしておかなければならないものと思われる。

塩屋マダイ、ミドリイガイについては販売促

進用のパンフレットを作成している（普及員が協力）が、やはり養殖業の実施を考える場合、販売面の対策が重要である。

3. 交流会

25日は本部漁協において、視察後交流会をもち、青壮年部の情報交換を行った。

26日は漁業調整委員会室において第1回若い漁業者確保八重山地区推進会議を開催し、参加者各自の視察に対する所感を発表し、これからの青壮年部活動への展望等を話し合った。その後、水産振興課において、振興課長以下職員との交流会をもった。

八重山漁協青年部養殖場視察日程

日時：11月25日～27日

視察先：恩納村漁協・本部漁協・
羽地漁協（塩屋）

視察者：八重山漁協青年部8名

恩納村漁協 藻類養殖、資源管理
本部漁協 魚類養殖、観光漁業
羽地漁協（塩屋） 魚類養殖、貝類養殖

11月25日（月）

08:25→09:15 JTA 600 石垣→那覇
09:30→11:00 公用車2台 那覇→恩納
11:00→12:00 恩納漁協視察
12:00→13:00 昼食（海産物レストラン）
13:00→14:00 恩納→本部
14:00→16:00 本部漁協視察
16:30→17:00 県営栽培センター
18:00～ 交流会

ペンションセソコ（0980-47-6075）

※タオル持参（忘れないこと）

11月26日（火）

10:00→11:00 本部→塩屋
11:00→12:00 塩屋視察
12:00→13:00 塩屋→名護
13:00→14:00 山原海鮮館（本部漁協直営）視察、昼食
14:00→16:00 名護→県庁（公用車返納）
16:30→18:30 反省会・若い漁業者確保八重山地区推進会議
ホテルタイラ（098-868-4515）

11月27日（水）

05:00→07:00 県漁連市場視察
07:00→08:00 朝食
11:00
12:40→13:40 JTA 613 那覇→石垣

◎ 先進地 視察 名簿

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 仲田 森 浩 | 8. 大 嶺 猛 |
| 2. 名 嘉 秀 三 | 9. 具志堅 武→(名義変更未だ)比嘉幸秀 |
| 3. 金 城 茂 正 | 10. 下 地 宏 政 |
| 4. 玉 城 勇 三→帰りはオープンにしたい。 | 11. 糸 数 正 |
| 5. 末 吉 正 和→行きは、前日にしたい。 | 12. 伊良部 幸 吉 |
| 6. 玉 城 守 | 13. 金 城 毅 |
| 7. 島 袋 克 彦 | |